

## 10/15 鹿の子沢にリコーダーの音色

昨年の台風被害から復旧した鹿の子沢を散策する町観光協会主催の森林ウォークが、10月15日に開催され、町内外から27人が参加しました。NPO法人常呂川自然学校の羽根石晃彦さんがガイド役となり、忍び岩などの名所で説明や休憩を挟みながら展望台を目指しました。下山途中の昼食時には、置戸中リコーダー部の演奏が披露され、参加者は森の中で優雅なひとときを過ごしました。



## 10/29 足踏みろくろに挑戦

10月5日から開催中の企画展「ひきもの」にちなんだワークショップが、10月29日、 doma 工房で開かれました。内容は、職員が手作りした人力で動く足踏みろくろの機械を使って、イタヤカエデの生木に鑿を当てて削り、オリジナルのこけしを作るモノづくり教室。午前と午後合わせて参加者6人は、木の感触をじっくりと味わいながら、モノづくりを楽しみました。



## 11/2 森づくり学ぶ、置中1年植樹体験

晴天の下、置戸中学校1年生21人は、11月2日、秋田地区の民有林で置戸町林業グループ主催の植樹体験を行いました。生徒たちは植樹方法の説明を受けた後、土壌にある石やクマザサの根に悪戦苦闘しながら鍬をふるい、林業グループと一緒に約2時間で600本のカラマツの苗木を植えました。生徒たちは植樹を通して、森づくりの役割と大切さを学びました。



## 11/5 置戸消防団・置戸支署合同訓練

11月5日、雪がちらつく寒空の下、町内の栄第一の旧図書館周辺で、町消防団と町支署の合同訓練が行われました。消防団員と職員合わせて86人は、置戸地区の大サイレンが吹鳴後、訓練場所に消防車で集合。旧図書館周辺の建物に向かって連携して放水し、近隣の建物への燃焼を防ぐ、火災防ぎょ訓練を行いました。これからの冬の季節、ストーブなど火の元には注意しましょう。

